



Protecode の追加情報

Protecode のコアIP解析SDK – ワークフローへの統合

Protecode のコアIP解析エンジンは、企業の既存のオープンソースまたは品質管理プロセス向の一部として、ソフトウケのエアファイルの解析とライセンス属性検出用の検出のためのJavaアプリケーションモジュールであり、ソフトウェア開発キット (SDK) として使用できます。解析とライセンス識別機能は、Protecode のグローバルIPシグネチャデータベース、またはローカルエンタープライズIPシグネチャデータベースのいずれかにてと共に実行されます。Protecode は、クライアントの環境にSDKを統合するエンジニアリングサービスを提供します。多くの場合、ワークフローの統合は数日以内に完成します。

Protecode のソフトウェアIP監査およびポートフォリオ比較サービス

ソフトウェア資産に関する特定のトランザクションを計画している場合には、M&A、エクイティ投資、製品情報、IP損害賠償の要求、商用化のリサーチまたはその他のイベントの商用化に関わらず、当社のエキスパートソフトウェアIP監査およびポートフォリオ資格サービスをご利用ください。これらのサービスは、お客様クライアントのソフトウェア資産内のオープンソースと他の第三者コンテンツのライセンスおよび著作権の属性を識別し、また、2つの特定のコードポートフォリオ間の類似点を検出します。Protecodeはここで、ソフトウェアライセンスの専門知識と、最先端のソフトウェア解析製品 (Enterprise Analyzer) により、生成されたライセンスリポートもしくはそれらの比較を元に、お客様の資産価値を保護し、ガイダンスを提供します。

生成されたライセンスリポートまたは比較に基づいたガイダンスと解釈を提供するために、ソフトウェアライセンスの専門分野とリーディングソフトウェア解析製品であるエンタープライズアナライザーを組み合わせます。

その理由はコードの移動ソースコードは容易に移動する

オープンソースのライセンス違反を早期に検出し、共通コードの早めの検出、部品表の取得、および確立済み既存のワークフロー内で全てのライセンス義務のすべてをシームレスに理解することができます。Protecode システムeのシステム4ソリューションは、世界的企業のコスト抑制および制御、ソフトウェア資産価値の保護もしくはの急激な増加を可能にします。

優秀な開発者は、ソースコードを一から作成することはありません。コードの書き込みを一から行うことをしない

優秀な開発者は、コードをどこから取得すればよいのかを、よく知っています。コードの取得場所を知っています。市場に対する生産性の向上改善、開発期間の時間の短縮、開発コストの削減のために、はすべて、ソースコードの再利用、アウトソーシング、オープンソースコードの使用やかつ商用ソフトウェアの購入等によく行われることです。しかし、オープンソースコードなどのオープンソースソフトウェアを含むサードパーティのソース第三者コードには、ライセンスやおよびその他の著作権義務に注意をする必要があります。

ライセンス汚染のリスクなしに、オープンソースを利用可能に革新の加速が、リスクビジネスになるとは限らないProtecodeは、世界最速の解析時間とで最も信頼性の高いのけるソフトウェア解析エンジンを持ち、唯一の、また、リアルタイム検出機能によりとオープンソース、およびサードパーティ第三者のソフトウェアの効果的な管理を可能にします。製品のみを取り扱っています。

Protecode のソリューション

小規模のテクノロジービジネスまたは分散型組織であるに関わらず、Protecodeは、その市場で非常に最も柔軟フレキシブルなソリューションによりを揃え、小規模な組織から地理的に分散した大規模な組織まで対応が可能です。Protecode 当社の製品はインストールが容易で、インストールと使用の容易さ、および製品は、急激急速な環境変化に対応可能です。Protecode は、オープンソースのライセンス管理において製品とサービスの両方を提供します。本ソリューションは、ライセンスの不確実性を取り除き、ライセンスと著作権義務を明確にし、のハイライト表示、オープンソースの利用採用に関するプロセス管理を容易にします。

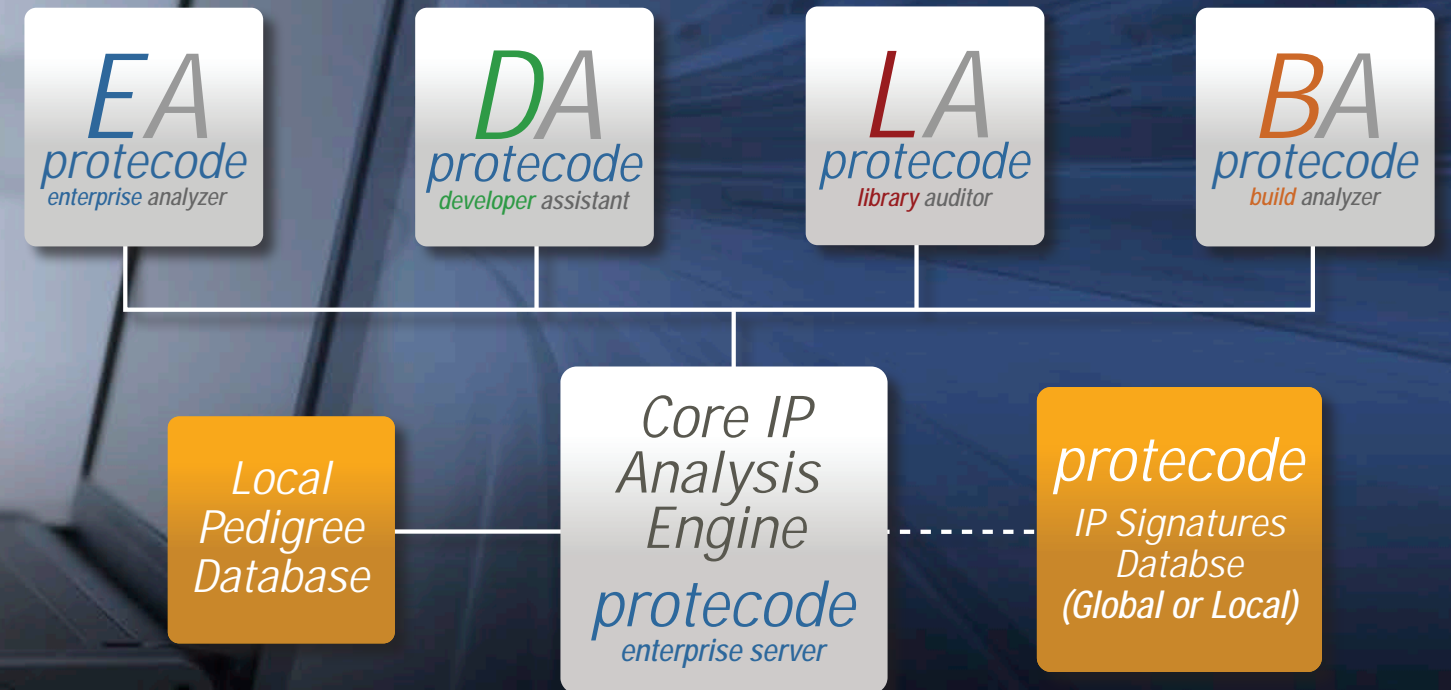
ご質問等は、当社のチームへ product_inquiries@protecode.com 宛てにメールでお問い合わせください。

弊社のホームページをご覧ください: www.protecode.com

Protecode システム4

当社の製品はスケーラブルな製品です。企業は、必要に応じて独自のニーズに合わせて複数のEAとDAを購入する場合があります。

オープンソースを安全に利用し、開発効率の向上を可能にソフトウェアに必要とする加速革新



Protecode システム4



Protecode のレポートツールによりライセンス準拠および法的義務の理解

エンタープライズアナライザーエンタープライズ・アナライザー (EA) – この多目的スタンドアロンツールは、ディレクトリ内の全てのコードを自動的に解析しすべての解析と識別、ソフトウェア部品表を作成し、とソースコードのライセンス属性すべてを識別、するカスタマイズ可能なレポートの作成、また企業のライセンスポリシーに基づいて検出した違反箇所をのハイライト表示を行います。EAは、構成の変更が可能で、かつオンデマンドまたは定期的なスケジュール間隔にて、ディレクトリを解析することができます。新規または変更されたファイルのみが解析され、前回のスキャン以降変更のないファイルは無視されます。Protecodeのレポートは、日付が記録されがスタンプされ認証されます。



リアルタイム開発ツールによるリスクの最小化と革新の促進

デベロッパー・アシスタント (DA) は、開発者のデベロッパープラットフォームにてシームレスに統合されし、開発環境に導入される新たなソフトウェアをバックグラウンドで監視します。新しいコンテンツを開発環境で導入されているとおり解析することで、デベロッパーのワークステーションの背後で地味に操作を行います。このソリューションは、それらのソフトウェアが企業のライセンスポリシーに違反しているかどうかがあるかをデベロッパー・開発者に自動的に通知するため、開発プロセスの早期の段階において早めの対処の必要性を判断デベロッパーが判断することができます。違反の早期検出は、時間とコストの削減に有効で、時間の節約とコストの削減に対する予防策です。開発者はトレーニング無しで利用可能です。デベロッパーの訓練は必要ありません。

Protecode の拡張子



ソースコードリポジトリのライセンス解析

ライブラリ・オーディター (LA) は、コミットされたすべてのファイルが企業のライセンスポリシーに準拠していることを確認するために、企業のソースコントロールマネジメント (SCM) ライブラリに格納されているコードを自動的に解析します。分割ポリシーは、特定のライブラリブランチ毎にライセンスポリシーを設定することが可能です。に確立される可能性があります。違反が検出されると、ポリシー違反、違反しているライセンス、違反ファイルの場所、そしてその他の措置に関する内容適切な詳細を含んだ表示する電子メールが、管理者、または他の規定ユーザーへ送信されます。LAは、SVN、Perforce (パーフォース)、Rational ClearCase (レーショナル・クリアケース) をサポートしています。LAの使用には操作には、Protecodeエンタープライズ・アナライザーが必要です。



ビルド構築とスキャン

ビルド・アナライザー (BA) は、企業ポリシーに反する違反の有無を確認することで、最終製品版のビルド時に使用される、全てのコードを解析し、それらにすべてのコンポーネントに関する詳細レポートを自動的に作成することにより、構造の一部として使われる、全コードの解析を行企業ポリシーに反する違反の有無を確認することが可能になります。BAは、ビルド環境において一般的にビルドスクリプトの一部として生成されるビルドプロセスで使用される物だけでなく、ビルドスクリプトの一部から生成され、リンクされるファイル、もしくはビルド操作でバンドルされる物にアクセスします。リンクまたはビルド操作に含まれるすべてのファイル、ビルドスクリプトの一部として作成されたファイルだけでなく、ビルドプロセスで使用され、ビルド環境でのビルドスクリプトの一部として一般に作成されたファイルの両方にアクセスします。BAの使用には操作には、Protecodeエンタープライズ・アナライザーが必要です。